



(右作品)
清水公照
『修中繪日記』より

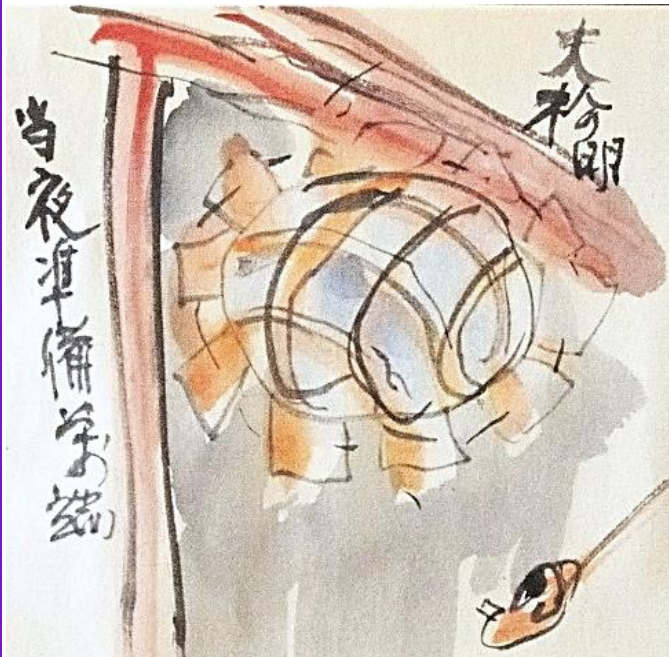
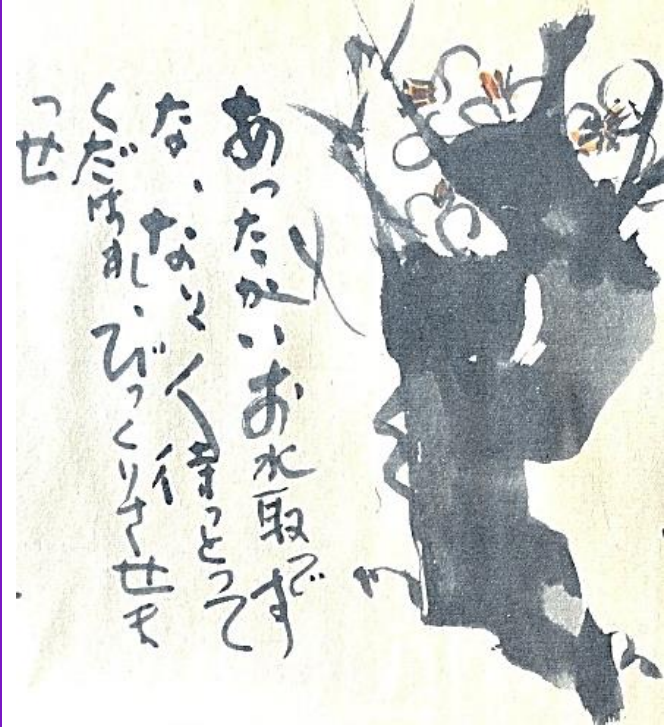


奈良町にぎわい通信

Vol.58

二〇二〇・立春〜雨水

発行
奈良町
にぎわいの家





皆さんが作った歌を
先生が添削中。
初めての方も普通の
言葉で。

喜多隆子先生によるやさしい短歌」



自分で点てた
お茶で一服。

当館スタッフによる
にぎわい体験茶会
&
水墨画体験



毎月恒例！
かまど体験

かまどの湯気の
温かさが嬉しい。
冬野菜たっぷり
のお味噌汁と。



梅をテーマに
描きました。

奈良町にぎわいの家 1月のイベントから



新年恒例！
餅つき体験
&
ぜんざいの
ふるまい

5回目の開催、
スタッフも
手際良く！

ぼくもわたしも、おもちつき！ぺったんぺったん、さあできた！



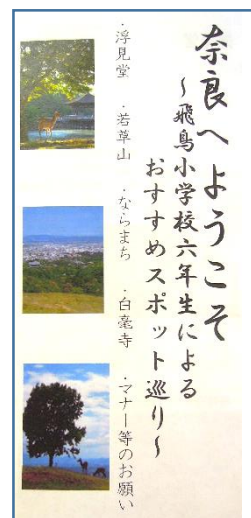
美味しかったよ！



もち米は
近隣の方から
提供いただきました。
ありがとうございました。

飛鳥小学校六年生制作パンフレット「奈良へようこそ」

当館には地元の小学生も多く来館します。座敷を見て「広くていいなあ。」つし二階や蔵をみつけて「こっちにこんなのある。」など、いろんな声が聞こえます。班活動での来館時には、質問にスタッフが答えたり、実際に火吹き体験もしたり、町家に親しんでもらう機会としています。こうした地元の施設を巡って、奈良のことを知り、発信していく活動の総まとめのようなパンフレットを、2月3日、飛鳥小6年生が届けてくれました。タイトルは「奈良へようこそ～飛鳥小学校6年生によるおすすめスポット巡り」です。カラー写真も多い、パソコンで作られた三つ折りのパンフレットで、自分たちで調べた見どころが、わかりやすく紹介されています。小学生がとりあげたおすすめスポットは四つ、「浮見堂」「若草山」「白毫寺」「ならまち」です。浮見堂の紹介文には「ボート乗り場の近くには、「洞水門(どうすいもん)」もあり、少し珍しい水による音を楽しめるスポットとなっています。」と周辺の説明も丁寧に解説。ならまちについては、「古い町並」「こだわったもの作りに興味がある」「人混みが苦手」な人にオススメな所です。…なるほど参考になりますね。最後のページは「奈良公園でのマナー」で、鹿との接し方も書かれています。このパンフレットは、当館の離れに置いてありますので、是非、力作をご覧ください。



にぎわい「おもてなしクラブ」月1体験企画

当館は、約20名のスタッフで運営しています。メンバーは、いろんな専門分野や特技の持ち主。そんな個性を活かした、月1体験会を実施しています。現在、定期的に行っているのは、絵手紙、水墨画、書道、仏像講座です。主に火曜日の午後2時から開催中。予約無しで気軽にできます。(無料・一部実費100円程度)この体験枠は、外国のお客様の利用が多く、何気にふらっと来て、初めて持つ筆も上手に使いこなすなど、ゆっくりと楽しんでおられます。4月からは更に充実させていきますので、皆様、どうぞいらしてください。



山際の空が夕茜にそまっています。いつのまにか、みぞれが雨になり、雨もあがっていききました。雨水のころ、少しずつ春にわかっています。

山際のそら夕茜
いつしかに雲(みぞれ)は
雨に雨もあがりて

オリジナル節気短歌
喜多隆子(歌人)
節気マーク
はがきデザイン
金田あおい(藍寧舎)

事務局だより

2020 雨水

五節句としての ひなまつり

事務局長 藤野正文

立春が過ぎたと思ったら雨水（うすい 2月19日）から啓蟄（けいちつ 3月5日）に、三寒四温を繰り返しながら、春の季節に向けて日々が過ぎていきますね。雨水は空から降るものが雪から雨に変わり、氷が溶けて水になる、という意味のようですが、草木が芽生える頃で、昔から農耕の準備を始める目安とされてきたようです。

また、この雨水の頃には、「ひな人形を飾ろう」といわれているようです。ひなまつりの由来は中国から伝わり、「五節句」という行事のひとつの「上巳」（じょうし、じょうみ）と呼ばれる三月三日の桃の節句に、ひな人形を飾ってお祝いをします。

今のようにひな人形を飾ってお祝いするようになったのは、江戸時代の後期のようですが、もともと、季節の節目を意味する「節」のころは、昔から邪気が入りやすいとされ、紙などで作った人形で自分の体を撫でて穢れを移し川に流すことで邪気祓いをする行事（流し雛）として広がってきたようです。もう一つの起源は、「ひいなあそび」という小さな人形（小さな人形）を使って行われるおままごとのようです。

可愛らしいひな人形を見ているだけで幸せな気持ちになりますね。季節の変わ

り目で何かと大変なこの時期、お気に入りのマイ雛人形を飾って、ちらし寿司、蛤のお吸い物、菱餅、白酒、ひなあられに限らず、おいしいものを食べ、自分をいたわるときかけにするのもいいのではと思います。

また、奈良県内でもひなまつりのイベントが開催されています。

「大和な雛まつり」が大和郡山市城下町で、高取町土佐では「町家の雛めぐり」が開催されます。

ひなまつりを通して、季節の節目を大切にし、楽しんできた日本人のくらしを大切にしたいものです。



裏庭の風景。
それぞれの
花の時間....

茶道家の佐久間宗成先生が昨年、十二月に逝去されました。先生には、珠光茶会を始め、当館の四季の茶会等において、お世話になりました。ご尽力に感謝すると共に、生前のお姿を偲び、心よりご冥福をお祈りいたします。



カルタ、双六、お手玉
コマ遊び...。昔遊びも
楽しい令和の新年。



コマ名人の大塚英二郎先生が指導。
誰が名人に近づけるかな？



奈良町にぎわい通信vol.58

制作...奈良町にぎわいの家管理共同体
発行人...二十軒起夫
編集・構成...おの・こまち
表紙デザイン・レイアウト...福田昭一
撮影...奈良町にぎわいの家スタッフ

奈良町にぎわいの家 9:00~17:00 水曜日・休館
〒630-8333 奈良市中新屋町5 TEL 0742-20-1917

nigiwainoie@gmail.com

<http://naramachi-nigiwainoie.jp/>

書...逢香



奈良町にぎわいの家
オリジナル節気マーク



立春

2/4~18



雨水

2/19~3/19

木木の芽に春の雲(みぞれ)のひかるなり
ああ山鳩の声ひかるなり 前登志夫